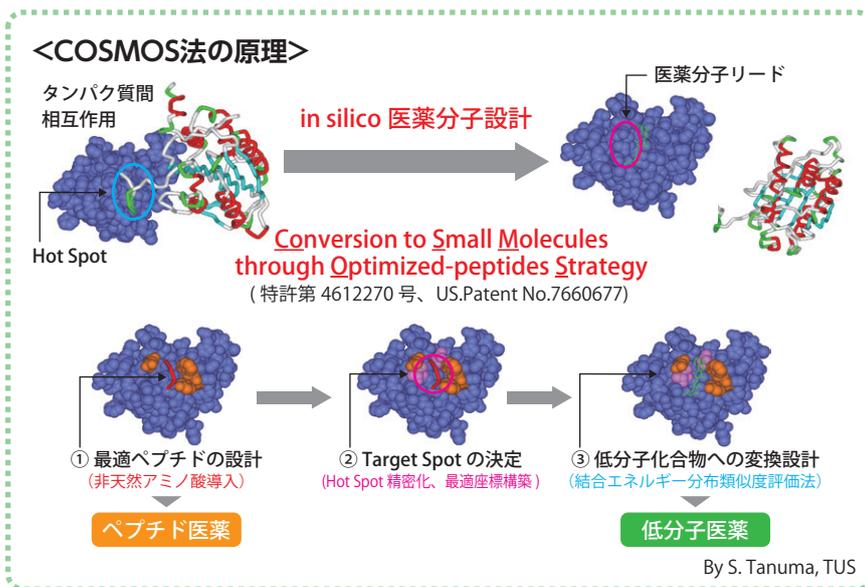


田沼 靖一 Sei-ichi TANUMA (東京理科大学 総合研究院 教授)

研究のご提案

私共が開発したタンパク質間相互作用 (PPI) を標的としたin silico創薬手法、COSMOS法を用いて低分子医薬及びペプチド医薬の開発のためのリード化合物創製の共同研究を行います。

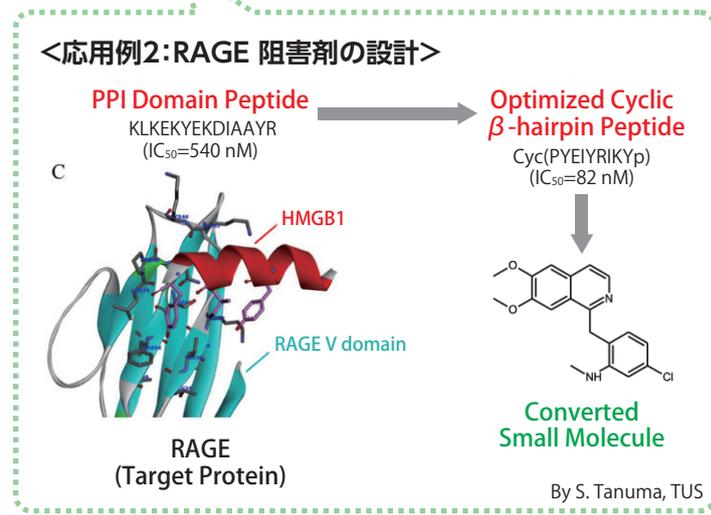
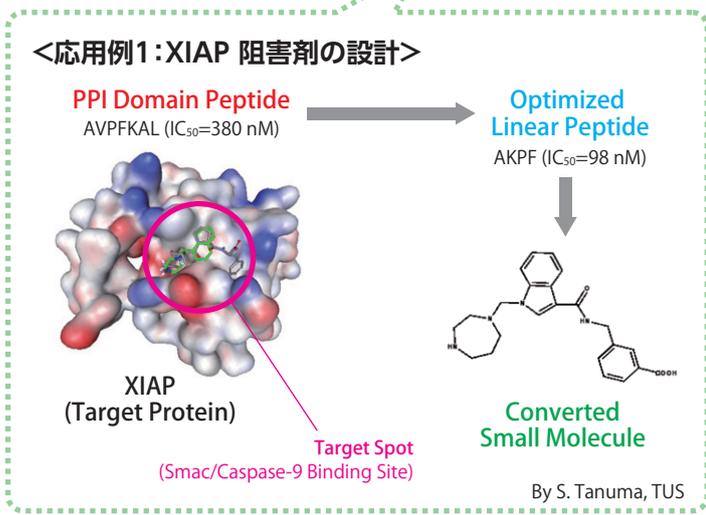
研究の概要



POINT

標的タンパク質のキャビティに結合する「最適結合ペプチド」(4~6 mer直鎖、10~12 mer環状)を設計し、それを低分子変換設計や非天然アミノ酸導入によって「低分子医薬」及び「ペプチド医薬」開発のためのリード化合物を創製します。

■知的財産権：特許第4612270号、US.Patent No.7660677



活用の可能性

薬剤耐性の克服手段として、アミノ酸変異標的タンパク質の微細構造変化に対応する「最適結合ペプチド」を設計することによって、「薬剤耐性克服薬」を創製できます。

抗体エピトープなどのPPI解析データから関連する数種の「最適結合ペプチド」を設計し、機能性ペプチドをアセンブルすることによって、「抗体ミメティックス」などの「ペプチド医薬」を創製できます。

